

エコファーマーネットワーク通信

〈No.22〉



全国エコファーマーネットワーク
会員番号 A000000

☆現在、農林水産省「消費者の部屋」で全国エコファーマーネットワーク会員の農産物特別展示が行われている最中です。その現場報告を致します。

☆この期間の展示担当は、生産局農業環境対策課です。この催事の開催目的は、環境に配慮した農業に取り組むエコファーマーの活動を紹介し、環境保全型農業・農産物に対する消費者理解を深めることです。そのために、エコファーマーの活動についてパネル等を用いて分かりやすく紹介するほか、実際にエコファーマーの方々が栽培された農産物の会場内展示を行います。

☆環境保全型農業推進の一端を担ってきた全国エコファーマーネットワークは協力組織になっています。その他に、環境保全型農業推進会議、日本土壤協会も協力組織、機関として、担当部署と一体となり準備を行い開催しました。

☆10月24日(金)の午後、「消費者の部屋」にパネルや展示台などを設営しました。開催期間は、10月27日(月)から31日(金)の1週間です。

☆初日の27日11時50分に簡単でしたが開会式を行いました。担当者代表として農林水産省生産局農産部農業環境対

策課の前田豊課長からオープニングが告げられました。その中で、農家の所得倍増が一挙



になされ難い中で、持続的農業を可能とする環境保全と連携した農業の進展が、重要であると言及されました。さらに継続的開催するエコファーマーの特別展示会のような場で生産活動を消費者に積極的に直接訴えることが重要であり、今回の開催意義について触れられました。

☆協力側を代表して、全国エコファーマーネットワークの佐々木陽悦会長、日本土壤協会の松本聡会長からの挨拶がありました。

☆正午のチャイムと同時に展示会場にお客様をお招きしました。

☆初日は、全国エコファーマーネットワークの役員の香取政治副会長、宇都宮俊文幹事、富田真也幹事が事務局と一緒に会場の運営に当たって頂きました。

☆出展内容は、出展者、出展数量において、昨年を上回るものとなりました。本来なら、商品として需要者に販売され



るはずの立派なものばかりでした。展示台は、昨年より大きなものが準備されましたが、それをあふれるほどの農産物、加工品が寄せられました。会場の企画を担当した事務局として篤くお礼を申し上げます。

☆今年も佐々木会長が宮城から持参のメダ



カ、ヘラブナ、ドジョウ、ヤマトヌマエビは、老若男女を問わずの人気です。本日も、消費者の部屋は続きます。野球に例えたら、8回の裏が終わったところです。11月4日、5日からは、延長戦のような全国交流会をつくばで開催します。事務局は、現在試合続行中です。結果報告を次回でしたいと思います。

(全国エコファーマーネットワーク事務局)